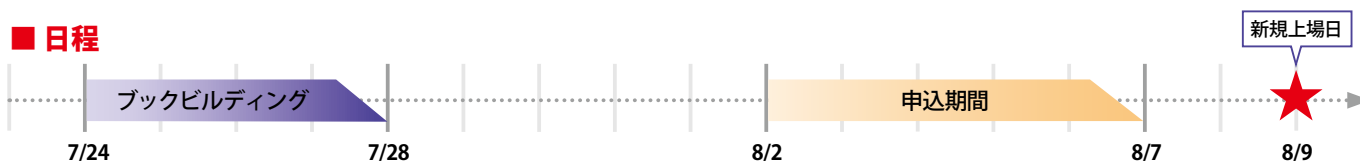


IPO銘柄 トランザス (6696・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
6696	100株	公募: 38.00万株 売出: 36.00万株 (OA10.00万株)	1,240円~1,300円 (19.9倍)	いちよし証券

■ 日程



IoT端末やシステムなど開発

■ 事業内容

IoT (モノのインターネット) 端末や機器装置の製造販売と、それを利用したシステム・サービスの提供を行う。ソフト開発から機器装置の製造、メンテナンスまでワンストップで行っている。IoTソリューションサービスとして、映像配信分野のセットトップボックスや配信システム、販売業務支援分野のデジタルサイネージやタッチパネルディスプレイ、作業支援分野のウェアラブルデバイスなどを開発。自社デザインの端末とシステムを開発し、システムインテグレーターや商社、ソフト開発業者などのパートナーに提供。映像分野はホテルや病院のVOD (ビデオ・オン・デマンド) 配信用ソフトや、企業のテレビ会議システム、官公庁向けのライブ配信用ソフトなどに利用されている。IT業務支援サービスとしては、小売業者向けの販売管理システムや在庫管理システム、教育関連事業者向けの顧客管理システム、メーカー向けの販売管理システムなども手掛けている。ターミナルソリューション事業の単一業態。

■ 特徴

ソフトだけでなく、端末開発やサービスまでを可能とする垂直統合型のビジネスを展開しており、製品の設計段階から開発に加わることで部品レベルでのコスト削減で小ロット生産も実現。ソフトの知的財産権を社内に蓄積することで、ソフトの転用、開発ノウハウの応用によって効率的な開発を行っている。

アナリストコメント

■ 定量分析

18年1月期の連結経常利益は2億4,300万円を予想する。この期から連結決算を開始するため、前期比較はない。ホテル向けのVOD用セットトップボックスを納入。前期からスタートしたウェアラブルデバイスの受注獲得活動も本格化している。

■ 定性分析

IoT関連は株式市場で人気の物色テーマであり、IPOマーケットでも注目度が非常に高い。成長イメージも強く、お盆休み前でIPOが少なくなる時期ということもあって投資家の関心が集中しそうだ。米インテルの投資部門が5位株主となっていることも話題。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は10.9億円。人気テーマに乗る案件としては荷もたれ感も意識されない規模であり、ブックは争奪戦となるとみられる。IPOが少ない時期であることも資金集中に拍車をかけそうだ。(小泉健太)

■ 類似企業

トランザス (6696・マザーズ)	予想PER19.9倍 (仮条件上限)
ソリトンシステムズ (3040・東証2部)	予想PER31.4倍
ピクセラ (6731・東証2部)	予想PER ー

■ 引受証券

いちよし証券、みずほ証券、SBI証券、エース証券、マネックス証券、極東証券、水戸証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
16年1月期(実績)	1,028	29.8	202	46.0	122	43.5	65.2	—
17年1月期(実績)	1,051	2.3	184	▲8.9	111	▲8.9	55.6	—
18年1月期(会社予想)	1,252	—	243	—	166	—	65.3	—

※ 18年1月期より連結決算。17年5月に株式分割（1株→50株）を実施。16年1月期および17年1月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
16年1月期	43,360	630	426	110	212.6	67.7	35.3
17年1月期	43,360	702	538	110	268.3	76.7	23.1

※ 16年1月期および17年1月期のBPSは遡及修正

大株主上位（上場前）

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	藤吉 英彦	1,108,000	39.97
2	WORLD F PTE. LTD.	500,000	18.04
3	前川 昌之	195,000	7.03
4	福田 敏章	130,000	4.69
5	アイエグループ	125,000	4.51
5	INTEL CAPITAL CORPORATION	125,000	4.51
7	藤吉 一彦	100,000	3.61
7	鈴木 邦敬	100,000	3.61
7	長田 豊国	100,000	3.61
10	奥 文郎	55,000	1.98

経営陣

役職	氏名
代表取締役(社長)	藤吉 英彦
取締役(国内事業本部長)	松川 淳
取締役(管理部長)	稲田 淳
取締役	前川 昌之
取締役(監査等委員)	福田 敏章
取締役(監査等委員)	佐々木 豊
取締役(監査等委員)	原口 昌之

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering) : 新規株式公開。

※2 ブックビルディング : 引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載していません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・SBI証券が保有する株式等や主幹事担当会社の重要な開示事項（利益相反関係等）についてはSBI証券WEBサイト（http://search.sbisecc.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690_kaiji.html）をご確認ください。または、カスタマーサービスセンター（0120-104-214（携帯電話・PHSからは03-5562-7530））までお問い合わせください。
- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者
登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会